

# ひょうごの福祉

認め合い ともにつながり 支え合う みんなでつくる ひょうごの福祉

9

No.775

## P2 特集

「ストップ・ザ・無縁社会」絆つなげる明日へつながる⑳  
全県キャンペーンのこれまでの取り組み

## P5 みんなでつくるひょうごの福祉

障害への理解を地域に広げよう!  
～県内で始まった知的障害者擬似体験の取り組み～

## P6 特集

兵庫県の社会福祉政策に対して提言活動を開始!

## P8 地域を駆ける!ワーカー物語

「つながりづくり」から始まる“地域づくり”を!  
神戸市西区社会福祉協議会 地域福祉ネットワーカー  
藤田 裕さん

## P9 シニア世代のいきいきアクティブライフ

地域の人たちが食べて、  
しゃべって、元気になる“つどい場”

## P10 ひょうごの福祉NOW

## P11 みんなの広場

## P12 インフォメーション

9月15～21日は  
「老人週間」だよ!

荒湯  
湯村温泉

新温泉町

湯村温泉「荒湯」



この機関紙は赤い羽根共同募金配分金により発行しています。



# 「ストップ・ザ・無縁社会」 絆つなげる 明日へつながる<sup>②8</sup> 全県キャンペーンの これまでの取り組み

「無縁社会」への警鐘を鳴らし、つながりや絆が大切にされる社会づくりを呼び掛ける「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンを開始して3年が経過した。社会的孤立が広がりを見せる中で、「支え合い社会」に向けた取り組みはなお重要性を増しつつある。

今回の特集では、これまでに「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンで行ったさまざまな活動をご報告する。



■図表1 平成27年度に開催が予定される地域フォーラム(平成27年6月30日現在)

社協名	フォーラム名	開催時期
宍粟市	こどもホームステイ事業60周年記念フォーラム	6月14日
神河町	10周年記念「感謝の集い」	6月28日
多可町	第10回社協まつり	7月26日
川西市	権利擁護フォーラム2015「市民が市民を支えるしくみ～市民後見人の意義と役割」	9月7日
南あわじ市	ふれあい交流のつどい	10月24日
加東市	第8回かとう福祉まつり	10月24日
丹波市	丹波市社協合併10周年記念事業「たんば福祉フェスタ」	10月24日
佐用町	佐用町社協合併10周年記念行事 「あなたに感謝デー～つなげよう かがやく未来に 笑顔の和～」	10月25日
養父市	しあわせフェスタ2015地域で支えあうためのフォーラム	10月31日
相生市	地域福祉リーダー研修・介護者のつどい「あ・うんの会」講演会	11月3日
宝塚市	地域のつながり・ささえあいを考えるフォーラム「子どもの貧困と地域のかかわり」	11月6日
小野市	地域でつながりづくりフォーラム	11月15日
西脇市	いきいきふれ愛フォーラム～つなげられ・ひろがれ・みんなのわ～	11月21日
高砂市	第25回みんなの社協フェア(共に生きる地域づくりをめざして)	11月22日
加古川市	地域ぐるみで見守りフォーラム	12月4日
赤穂市	障がい者週間ともに考える市民のつどい	12月5日
たつの市	設立10周年たつの市社協福祉のつどい 「ささえあい、たすけあいの地域(まち)づくりの推進を目指して」	12月10日
尼崎市	尼崎市市制100周年(プレ記念)社協フェア(仮称)	12月19日
三田市	三田市社会福祉大会	1月24日
伊丹市	地域見守りフォーラム((仮)孤立を防ぐ見守り合いの地域づくりをすすめるために)	2月6日
芦屋市	地域での見守りとつながりづくり	3月4日
西宮市	ノーマライゼーションフォーラム	2月～3月頃

※各フォーラムの詳細は、実施する市町社協・団体までおたずねください。



地域フォーラムの様子(第2回町内・集落福祉全国サミットIN淡路)

## 平成27年度総会・講演会 開催のご案内

**日時** 平成27年9月13日(日) 13:30～16:00  
**場所** 新神戸オリエンタル劇場  
 (神戸市中央区北野町1-3)  
**内容** 13:30 推進協議会総会  
 ライブパフォーマンス  
 手話パフォーマンスバンド「エスペランサ」  
 14:30 講演会「米朝一門と家族の絆  
 ～無縁社会から、支え合う社会へ～」  
 講師：桂 米圃治 氏(落語家)  
 関兵庫県社協地域福祉部 TEL 078-242-4634



## 全県キャンペーンに寄せられたメッセージ

- 隣近所で気楽にあいさつができる地域づくりが必要。「おせっかい」の人たちがもついても良いのでは…。
  - 心の底から人と関わりたくない人っています。そういう人をどう見守っていくかが地域福祉の問題だと思います。
  - 「縁」がなくなったら「社会」じゃないよね!
  - 助けを求める「手」を悩まずに挙げてほしい、必ず、差しのべてくれる人がいます。
  - 見守る人、見守られる人が互いに「共助」の意識を持つことが大切だと思います。
  - 人と人とのつながりって、大切なんだ、ねえ輪になろうよ。
- ※社会福祉夏季大学やホームページ等を通じていただいたもの

浸透しつつある  
キャンペーンの呼び掛け

開始から4年目を迎え、「支え合い社会」の実現に向けたキャンペーンの訴えかけは、さまざまな場面で浸透しつつある。平成23年12月に改

訂された兵庫県の「21世紀兵庫長期ビジョンー2040年への協働戦略」でも、「人と人のつながりで自立と安心を育む」が挙げられていたが、この8月に発表された「兵庫県地域創生戦略(案)」では、「さまざまな縁によるつながりの広がり」の項目が盛り込まれた。また、地域見守

りネットワークなどの構築も、県内の各市町で進められている。

「無縁社会のままでもいいのか」と問いかける啓発活動として展開してきたキャンペーンだが、無縁社会の問題は決して一朝一夕に解決できるものではない。また、無縁社会に対する意見も人によってさまざまであるだろう。

これからも、「無縁社会」の解消を目指し、新たな支え合い社会づくりに向けた取り組みが地域において定着するよう、みんなで考え、知恵と力を出し合える場づくりを、推進団体と共に展開していきたい。

スタートから4年目を  
迎えた全県キャンペーン



満員の出席者を得て開催した前回の推進協議会総会(平成26年8月20日)

「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンは、平成24年に県内の福祉・医療・保健・経済・産業、労働等の18の幹事団体を中心として全県キャンペーン推進協議会を組織して開始した取り組みだ。開始以降、県内の団体・企業にキャンペーンへの参画を呼び掛け、設立当初165団体であった推進団体は、現在では248団体に上っている(平成27年8月25日現在)。

推進協議会では、毎年総会とともに

地域フォーラムの  
参加者は延べ2万人超!

さらにキャンペーンでは、全県的に運動の裾野を広げていくことを目的として、社会福祉夏季大学等を協賛事業として実施してきた。また、開始当初より市町域での「地域フォーラム」等の開催を支援している。3年間に県内各地で開催された地域フォーラムは延べ45カ所、参加者は2万743人に上る。昨年度は幹事団体による推進フォーラム(3団体、参加者1004人)も新たに開催され、多くの県民の参加をいただ

平成27年度には、例年以上に多くの市町で地域フォーラムが開催される予定である(図表1参照)。

に著名人を招いての講演会を開催してきた。また、バッジやクリアファイルなどの啓発用グッズを作成したほか、ホームページやSNSを活用して、キャンペーンの取り組みが広く県民の目に触れるような啓発活動を展開している。





軍手を着けて折り紙を折ったり、ペットボトルをのぞきこんでみたり…みんな一体、何をしているんだろう？  
実は、知的障害者の人たちの気持ちを理解するための体験講座なんだって！

今回は、県内で新たに取り組みが始まっている、知的障害者疑似体験の様子を紹介するよ。



## みんなでつくる ひょうごの福祉

地域で支え合い、地域を元気にする取り組みを紹介します。

### 知的障害への理解を深める 疑似体験

学校などで進められる福祉学習では、これまでアイマスクや車いす体験など身体障害を対象にしたものや、加齢による身体的な変化を学ぶ体験講座が多く、知的障害の体験学習は行われてこなかった。公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会（以下、「県育成会」）でも、会員の中から「思っていることが伝えられない知的障害者のことはなかなか理解がされにくい。知的障害についての体験はできないのだろうか」との声が上がっていた。

そんな中、たつの市手をつなぐ育成会が中心となって市役所の職員や市民の有志で構成されたグループ「ぴーす&ピース」では、地元の高校生に対して知的障害を伝える授業を行ったことがきっかけで、県外での先行的な取り組みを参考に知的障害者の疑似体験を平成26年度から開始した。知的障害者の気持ちを理解し、「コミュニケーションの難しさなどを学ぶことができるよう工夫されたプログラムにより、地元の

## 障害への理解を 地域に広げよう！

～県内で始まった知的障害者疑似体験の取り組み～



「障害のことをどう分かりやすく伝えるか」と考え出された疑似体験

学校をはじめ、民生委員や地域住民などを対象とした体験講座に取り組んでいる。県育成会でも今年度から「ぴーす&ピース」と連携して、県内3カ所での知的障害者相談員や会員を対象に疑似体験を取り入れた研修を実施することとなった。

### 県内各地で普及を

「ぴーす&ピース」代表の矢野一隆さんは、福祉だからと深刻になることなく、研修としての「面白さ」を重視しながら、笑い声のある和やかな雰囲気の中で学ぶことを大切にしている。参加した育成会会員からも、「目からうろこの体験。自分の子どもはこういう風に感じていたのか」と日頃の接し方を考えさせられた」と感想が寄せられる。

### 取材を終えて

親なき後も安心して暮らせる世の中になってほしいという、育成会の皆さんの思いが伝わってきました。子どもから大人まで、各地域から各市町、全国へと理解が広がることで、誰もが安心して暮らせるまちづくりにつながっていくと感じました。

公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会  
神戸市中央区坂口通2-1-1 県福祉センター5階  
TEL 078-242-4644  
URL <http://www.tsunaguiku.sakura.ne.jp/>

## 私たちは、「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンを推進しています！

### 幹事団体

兵庫県連合自治会、兵庫県連合婦人会、神戸市婦人団体協議会、兵庫県消費者団体連絡協議会、兵庫県子ども会連合会、兵庫県社会福祉協議会、兵庫県市町村社協活動推進協議会、神戸市社会福祉協議会、兵庫県民生委員児童委員連合会、神戸市

民生委員児童委員協議会、兵庫県社会福祉法人経営者協議会、兵庫県老人クラブ連合会、兵庫県医師会、生活協同組合コープこうべ、兵庫県商工会議所連合会、兵庫県商工会連合会、兵庫県経営者協会、日本労働組合総連合会兵庫県連合会

### 推進団体

県内49市区町社会福祉協議会、赤穂市健康福祉部社会福祉課、朝日新聞近畿圏第二部連合朝日会、尼崎市医療生活協同組合、一般財団法人長谷川福祉会、ABCみかげほいくえん、NPO法人輝かすみが丘、NPO法人ニューいびぎ、NPO法人ほっとネット、家庭養護促進協会、株式会社イディー、きょうさん兵庫支部、近畿労働兵庫地区統括本部、神戸医療生活協同組合、神戸済済会病院、神戸市更生福祉施設連盟、神戸市児童養護施設連盟、神戸市消費者協会、神戸市私立保育園連盟、神戸市身体障害者施設連盟、神戸市知的障害者施設連盟、神戸市母子生活支援施設協議会、神戸市老人福祉施設連盟、神戸市乳児院連盟、神戸新聞会館、神戸新聞厚生事業団、神戸新聞事業社、神戸ヤクルト販売株式会社、神戸YMCA、神戸YWCA、こころ豊かな人づくり500人委員会 淡路連絡会、こころ豊かな人づくり500人委員会 北播磨OB会、こころ豊かな人づくり500人委員会 神戸OB会、こころ豊かな人づくり500人委員会 但馬OB会、こころ豊かな人づくり500人委員会 丹波OB会、こころ豊かな人づくり500人委員会 中播磨OB会、こころ豊かな人づくり500人委員会 西播磨OB会、こころ豊かな人づくり500人委員会 阪神北OB会、佐川急便株式会社伊丹店、児童ホーム東光園、児童養護施設アメリティホーム光都学園、児童養護施設いながわ子供の家、児童養護施設子供の家、社会福祉法人愛児会、社会福祉法人あいむ、社会福祉法人一羊会、社会福祉法人上野丘さつき会、社会福祉法人かがやき神戸、社会福祉法人榎の木会、社会福祉法人くすのき会、社会福祉法人恵泉寮清心ホーム、社会福祉法人神戸婦人同朋会、社会福祉法人三田谷治療教育院、社会福祉法人椎の木会、社会福祉法人ジェイエイ兵庫六甲福祉会、社会福祉法人慈仁会、社会福祉法人祉友会、社会福祉法人信和学園、社会福祉法人泉心学園、社会福祉法人善照学園、社会福祉法人大慈厚生事業会、社会福祉法人同朋福祉会、社会福祉法人南但愛育会、社会福祉法人姫路乳児院ピューパホール、社会福祉法人みかり会、社会福祉法人みつみ福祉会、社会福祉法人やまさき福祉会、社会福祉法人立正学園、社会福祉法人夢工房、社会福祉法人緑水会、生活協同組合連合会大学生協阪神事業連合、生命保険協会兵庫県協会、全国共済農業協同組合連合会兵庫県本部、全労済兵庫県本部、宝塚医療生活協同組合、滝川中学校・高等学校インターアクトクラブ、特定非営利活動法人ケアット、特定非営利活動法人福祉ネット星が丘、特定非営利活動法人マブイ六甲、特別養護老人ホームヘルシービラ加美、中山視覚障害者福祉財団、日本公衆電話会兵庫支部、日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会、日本赤十字社兵庫県支部、日本ボーイスカウト兵庫連盟、日本郵政グループ労働組合北神戸支部、日本郵政グループ労働組合はりま東支部、

日本郵政グループ労働組合姫路南支部、日本郵政グループ労働組合兵庫連絡協議会、乳児ホームりり、認知症の人と家族の会兵庫県支部、白鳥南保育園、姫路市保育協会、姫路消費生活研究会、兵庫医療生活協同組合、兵庫県生きがい創造協会、兵庫県いけばな協会、兵庫県医療ソーシャルワーカー協会、兵庫県医療福祉施設連盟、兵庫県LPガス協会、兵庫県音楽団体協議会、兵庫県介護支援専門員協会、兵庫県介護福祉士会、兵庫県介護福祉士養成校連絡協議会、兵庫県介護老人保健施設協会、兵庫県看護協会、兵庫県共同募金会、兵庫県漁業協同組合連合会、兵庫県勤労福祉協会、兵庫県芸術文化協会、兵庫県健康財団、兵庫県建設業協会、兵庫県更生施設連盟、兵庫県更生保護施設連盟、兵庫県交通安全対策委員会、兵庫県茶道協会、兵庫県歯科医師会、兵庫県視覚障害者福祉協会、兵庫県私学総連合会、兵庫県肢体不自由児者協会、兵庫県児童養護連絡協議会、兵庫県社会教育委員協議会、兵庫県社会就労センター協議会、兵庫県社会福祉士会、兵庫県社会福祉事業団、兵庫県司法書士会、兵庫県商工会女性部連合会、兵庫県商工会青年部連合会、兵庫県人権啓発協会、兵庫県身体障害者支援施設協議会、兵庫県身体障害者福祉協会、兵庫県森林組合連合会、兵庫県生活協同組合連合会、兵庫県青少年赤十字協議会、兵庫県青少年本部、兵庫県精神福祉家族会連合会、兵庫県精神保健福祉士協会、兵庫県青年洋上大学同窓会、兵庫県赤十字奉仕団、兵庫県体育協会、兵庫県体育協会 兵庫県スポーツ少年団、兵庫県宅建物取引業協会、兵庫県地域包括・在宅介護支援センター協議会、兵庫県知的障害者施設協議会、兵庫県中小企業団体中央会、兵庫県聴力言語障害者連合会、兵庫県手をつなぐ育成会、ひょうご県友会、兵庫県難聴者福祉協会、兵庫県乳児院連盟、兵庫県PTA協議会、兵庫県BBS連盟、兵庫県病院協会、兵庫県婦人共助会、兵庫県保育協会、兵庫県ホームヘルプ事業者協議会、兵庫県保護司会連合会、兵庫県母子生活支援施設協議会、兵庫県ボランティア協会、兵庫県民間病院協会、兵庫県薬剤師会、兵庫県ユースホステル協会、兵庫県読売防犯協会、兵庫県理学療法士会、兵庫県立高等学校PTA連合会、兵庫県老人福祉事業協会、兵庫県労働者福祉協議会、兵庫工業会、ひょうごセルフヘルプ支援センター、兵庫盲導犬協会、兵庫ヤクルト販売株式会社、フードバンク関西、ボランティア・信愛、名鉄観光サービス株式会社神戸支店、メインストリーム協会、野外活動協会、ヤマト運輸株式会社兵庫主管支店、有限会社健人訪問介護ステーションけんと、有限会社ナンバーワン・プランニング訪問介護事業所ナンバーワン・ケア、幼保連携型認定こども園菟学園、リコージャパン株式会社 兵庫支社、ろっこう医療生活協同組合(50音順)

推進団体248団体(平成27年8月25日現在) <内訳> 幹事団体 18団体、参画同意 230団体

# 兵庫県社会福祉政策に 対して提言活動を開始!

兵庫県社会福祉協議会社会福祉政策委員会(以下、「政策委」)は、このたび、「平成28年度兵庫県の社会福祉政策への提言」(以下、「提言書」)を取りまとめた。提言書は、県内の市町社協、施設種別協議会などのサービス提供者、当事者団体などのサービス利用者からの幅広い声を基にまとめ、全132項目にもおよぶ幅広い分野を網羅するものとなった。政策委では、この提言書を基に、以下のとおり提言活動を展開した。

## 兵庫県への政策提言

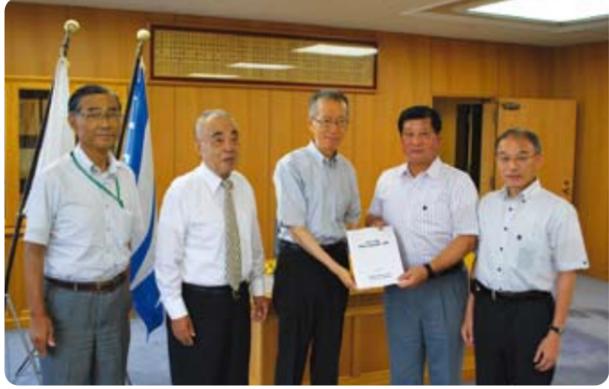
8月7日、政策委は県庁を訪問し、県知事と会談した。会談では、政策委正副委員長より提言を行い、福祉人材の確保、定着に向けた施策や生活困窮者自立支援施策の推進、障害者差別解消法施行を控えての合理的配慮への対応、社会福祉法改正をにらんだ社会福祉法人の地域における公益的な取り組みなど、現在の国の動きを捉え

つ、県重点施策である地域創生の取り組みなども織り交ぜながら幅広い分野について意見交換を行った。  
また、10日には県当局に対する説明会を、県健康福祉部長をはじめとする県関連部局幹部が一堂に会する中で開催した。各政策委員から提言項目について説明がなされ、今後予定されている次年度県施策の検討に際して、提言書で提起した内容の積極的な活用を要望した。



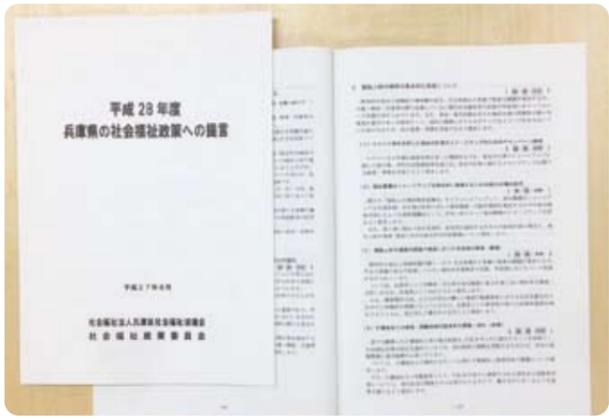
井戸敏三県知事へ提出

**兵庫県議会・市町への提言**  
政策委は、8月10日、県議会を訪問し、県議会議長、同副議長と会談した。今後、各会派の議員団を訪問し、代表者に対して提言活動を行うとともに、全県議会議員に対し、提言書を配布する。  
さらに、市町への政策提言活動も併せて実施する。県市長会、県町村会、県市議会議長会、県町議会議長会を訪問



石川憲幸県議会議長、上田良介同副議長へ提出

して提言活動を行うとともに、県内各市長、町長、市議会議長、町議会議長へ提言書を配布する予定だ。  
今後、提言の具体化とその実現に向け、調査研究事業や各種要望事業を積極的に展開していく。  
※提言書の項目は、本会ホームページ(<http://www.hyogo-wel.or.jp/>)に掲載いたします。



## 平成28年度兵庫県の社会福祉政策への提言

### 1 重点提言

#### 重点提言1 地域包括ケアシステムづくり

- ～みんなでつくる、地域支え合い体制づくりに向けて～
- 1 介護保険制度改正に伴う地域支援事業の展開支援
  - 2 地域福祉のコーディネート役(コミュニティソーシャルワーカー)配置
  - 3 市町地域福祉計画の策定の推進(新規)
  - 4 「兵庫県地域見守りネットワーク応援協定」の拡大・推進
  - 5 「地域サポート事業(安心地区)」や「地域サポート型特養」「兵庫式24時間LSA地域見守り事業」による成果の全体的な普及・推進

#### 重点提言2 生活困窮者支援

- ～公民協働の新たなセーフティネットづくりに向けて～
- 1 「生活困窮者自立支援事業」の円滑な推進
    - (1)生活困窮者自立支援事業の周知について(新規)
    - (2)相談従事者の養成の拡充について(新規)
    - (3)家計相談支援事業等の促進について(新規)
  - 2 既存の生活困窮者支援策の強化～生活福祉資金貸付事業の制度改善～
    - (1)各市町の総合的な相談・支援体制の強化
    - (2)生活保護や生活困窮者自立支援法との関係整理(新規)
    - (3)母子福祉資金事業の活用
  - 3 要援護世帯に配慮した多様な支援策の検討

#### 重点提言3 災害時の支援体制の強化

- ～広域的な支援ネットワークの構築に向けて～
- 1 「災害ボランティア割引制度」(交通費・宿泊費の本人負担軽減)の創設について
  - 2 兵庫県における「災害時の福祉支援体制」の構築
  - 3 災害ボランティアセンターの位置づけの明確化と財源措置
    - (1)災害ボランティアセンターとしての平時からの機能強化
    - (2)降雪市町での除雪困難世帯への支援体制づくり
  - 4 災害時の各市町域での地域安心拠点の確保・充実
    - (1)災害時要援護者の情報共有の推進強化とすべての市町での福祉避難所の設置促進
    - (2)社会福祉施設等における災害時の事業継続計画(BCP)ならびに地域継続計画(DCP)策定の推進
  - 5 東日本大震災で県内に避難された世帯への支援継続

#### 重点提言4 権利擁護の推進

- ～誰もが尊厳を守られる地域社会づくりに向けて～
- 1 総合的な権利擁護体制の構築
  - 2 福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)の体制整備の強化
    - (1)事業実態を十分に勘案した補助基準の設定
    - (2)専門員の適正配置
    - (3)市町社会福祉協議会での実施体制の充実と市町が関与する仕組みづくり

- 3 若年性認知症支援施策の充実(新規)
- 4 障害者差別解消の推進に向けた取り組み強化
- 5 障害基礎年金制度の適正な運用と障害認定の地域格差の是正について(新規)

#### 重点提言5 福祉人材の確保と育成・定着および資質向上

- ～福祉への理解促進・イメージアップと福祉人材の確保・育成・定着に向けて～
- 1 県民各層に対する「福祉」についての理解促進に向けた取り組みの強化
  - 2 福祉人材の確保の重点的な推進について
    - (1)マスコミ等を活用した福祉の仕事のイメージアップのためのキャンペーン推進
    - (2)福祉職場のイメージアップを総合的に推進するための検討の場の拡充
    - (3)福祉人材の確保の課題や要因に応じた県施策の実施(新規)
    - (4)介護福祉士の確保・研修体制の抜本的な整備・強化(新規)
    - (5)既存の大学や養成校の機材・施設を活かした福祉人材養成の拠点の整備(新規)
  - 3 福祉人材の資質向上に対する支援の充実
    - (1)新研修体系に基づく指定管理研修の充実・強化
    - (2)職場研修支援事業への継続的支援
    - (3)介護・障害・児童分野等を横断する基礎的研修や市町内連携による研修の支援強化(新規)

#### 重点提言6 社会福祉法人の「地域における公益的な取組」の全県的推進(新規)

- ～地域を元気にする、みんなでつくる福祉の拠点づくりに向けて～
- 1 社会福祉法人による「地域における公益的な取組」の促進に向けた基盤整備(新規)
  - 2 社会福祉法人の先進性・民間性を活かした協働の取り組みの全県的普及と促進支援(新規)
    - (1)「社会福祉法人現況報告」を活かした全県的な取組推進(新規)
    - (2)定款記載・職員配置基準のあり方について(新規)
    - (3)総合的・横断的な地域福祉を展開するための財源の確保・税制の維持(新規)

重点提言項目合計39項目(新規15項目)

### 2 社会福祉政策への提言

- 社会福祉協議会からの提言 20項目(新規 2項目)  
施設種別協議会からの提言 39項目(新規18項目)  
社会福祉団体等からの提言 34項目(新規16項目)

今年度合計132項目(新規 51項目)

# いきいきアクティブライフ

シニア世代が地域住民の一員としてアクティブに活動しているグループなどの事例を紹介します。



## 地域の人たちが食べて、しゃべって、元気になる“つどい場”

### 地域の中の身近な居場所

毎月2回、吉田照美さんの自宅を開放して行われる「撫子の部屋」にはご近所の人が多く集まる。参加者はシニア世代が中心で、最高齢は90歳。集まった人たちは、地域のボランティアが講師となって行う健康体操や詩の朗読会、音楽の演奏会などを楽しむ。お昼になると、近所から寄せられた野菜などを使った食事をいただく。参加者は民家の和やかな空間の中で、思い思いにおしゃべりをして過ごし、「ここに来ると元気になれる」と満足して帰っていく。

吉田さんは長年、地元で民生委員としての活動や社協の昼食会等の地域福祉活動に関わ



健康体操でいつまでも元気良く!

る中で、独居高齢者など活動に参加しにくい人のための居場所をつくりたいと感じていた。実際、撫子の部屋ができたことで、同じマンションに住む人たちが出会い、顔見知りになるなど、つながりづくりの場になっている。また、曜日を固定して定期的に行われているため、しばらく来ていない人を訪問し合う関係が生まれるなど、撫子の部屋ができたことが地域住民同士の見守りの場にもなっている。

### 取材を終えて

吉田さんの温かい人柄が周りの方々に惹き付けていると感じました。活動者の思いを形にした“つどい場”は、住民の生活と一体となって、地域の中での交流の場や新たなつながりを生んでいます。

### つながる・広がる“つどい場”の輪

撫子の部屋ができて約3年。吉田さんは長く続ける秘訣を「あえて、当番や役割を決めず、いつ来ても帰っても良いところ」と語る。これまで地域福祉活動に関わってきた人に声を掛け、吉田さんの思いに共感した人たちにボランティアとして手伝いに来てもらっている。ボランティアスタッフは、食事の準備や庭の手入れ、お菓子作りや参加者との話し相手など、自分の得意なことを生かしつつ、手伝える範囲で楽しみながら関わってもらうことで負担感なく続けられるのだと言う。

西宮市内では現在、このような自宅開放型や地域の空き家を活用した拠点である「つどい場」が10カ所以上開設されており、近隣住民がより身近に、気軽に集まれる地域の居場所となっている。市社協では、新しくつどい場を始めたい住民に向け、情報提供や新規開設のための助成金の支援を行うとともに、活動者同士の交流やつどい場の普及を目指して「つどい場ネットワーク」や研究会を立ち上げている。今後、つどい場がさらに増えることで、地域での多様なつながりが生まれ、誰もが安心して暮らすことのできる元気な地域づくりが推進されることを期待したい。



一緒に食事をすることで会話も弾む

### 団体の概要

「撫子の部屋」  
西宮市甲子園口北町8-5 TEL 0798-67-1839  
「西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり課(つどい場担当)」  
西宮市津門川町2-28 TEL 0798-23-1030

このコーナーでは、県内の社協職員など“地域福祉を進める人々”の活動を取り上げながら、ワーカーとしての想いを伝えます。



自分たちができることを考える福祉講座を開催

ある高齢の父親と引きこもりの息子の世帯への関わりが印象に残っています。周囲の関わりを望まない父子で、家の中はごみが散乱し、悪臭や害虫で近隣からの苦情もありました。家族も疎遠でしたが、なんとか娘に連絡がとれ、住民の方や関係者と共に今後の生活について話し合う場を設けました。責められるのではないかと不安だった娘を住民は温かく迎え入れ、一緒に父子を支え

### 力を入れたい活動は?

ていこうということになりました。「苦情」として表れていた住民の声は、「心配で何とかしてあげたい」という切実な思いだったことに気付き、人と人のつながりから支え合いが生まれるということ、そして、一つ一つの課題を住民の方々と共に考えていくことが大切だと感じました。

住民が身近な地域の福祉課題に気付き、自分たちができることを考えられる小学校区単位での福祉講座の開催に力を入れていきたいと思っています。人口25万人の西区に地域福祉ネットワークは一人しかいません。だからこそ、住民同士で支え合い、住民自身の力で課題解決を行えるような、地域づくりは大変重要です。講座では住民自身が困っていることを出し合い、自分たちができることを話し合います。今後はそこから一歩進み、受

### 大切にしていることは?

講者が地域で支え合い活動を実践できるような支援をしていきたいと考えています。

ワーカーである前に、一人の住民としての感覚を持つことです。住民の目線で考えて行動できれば、より理解し合える関係を地域の方々と築くことにつながると思います。そして、地域の中では社協が表に出るよりも、できるだけ縁の下で支え、関係者をつなぐことで、住民自身の力で課題を解決する、地域づくりを支援していくという視点も大切になっています。また、個人の支援や関係者のつながりづくりは地域福祉ネットワークだけで行うものではありません。個人と地域全体への支援を社協の全職員の総合力で行わなければ、地域づくりは実現しな

### 取材を終えて

冒頭の父子宅を訪れる際は、近隣住民へのあいさつを欠かさなかったと語る藤田さん。困り事を抱える住民だけでなく、周囲で力になりたいと思っている人々にもアンテナを張ることが、お互いを気に掛け合い支え合う地域づくりにつながるのだと感じました。

※地域福祉ネットワーク：神戸市で、既存の制度やサービスで対応できない困り事を地域の住民や専門職と一緒に解決するためのつながりづくりを行う専門職。

### 神戸市西区社会福祉協議会 地域福祉ネットワーク

### 藤田 裕さん

### Personal History

- 26歳 神戸市社協ボランティア情報センターに入局
- 28歳 北区社協で地域福祉活動コーディネーターとなる
- 30歳 市社協で施設担当
- 34歳 市社協で総務課へ配属
- 39歳 西区社協で地域福祉ネットワークとなる



地域を駆ける! ワーカー物語

「つながりづくりから始まる地域づくりを!」

心に残るエピソードは??

第1回福祉の就職  
総合フェアを開催

7月25日、神戸国際展示場3号館にて「第1回福祉の就職総合フェア in HYOGO」を開催した。昨今の福祉人材不足の影響を受け、多くの県内事業所等より出展希望があり、当日は171の出展ブースを設置した。また、500人を超える学生・一般求職者が来場し、当日の会場は熱気に包まれた。各ブースでは採用担当者らがパンフレットやスライドを使ってPRするのに対し、求職者は配布された就職情報誌に熱心に目を通して、処遇面や事業所の将来ビジョンを確認する姿が見受けられた。



ご参加いただいた事業所の皆さまへ  
フェアで面談された方の採否結果を「面談相談カード」に記入の上、9月30日までに福祉人材センターへ送付願います。



家計相談への関心はますます高まりを見せる

家計相談支援の  
ポイントを学ぶ

生活困窮者自立支援制度が4月より施行され、市町では総合相談・生活支援の基盤づくりや社会的孤立の解消に向けた地域づくりが進められている。

県社協では、家計改善の観点から相談支援を充実させることを目的として、8月10日に家計相談支援研修を開催した。当日は、生活福祉資金貸付事業や福祉サービス利用援助事業を担当する県内社協職員65人が参加した。

講師には、ファイナンシャル・プランナーの中村典子氏(株式会社シーベン取締役)を招き、支出の正確な把握や将来の生活設計、そのための家族間の合意形成など、望

また、当日は「福祉の就職ガイダンス」を併催し、講師の安達眞理子氏(兵庫県介護福祉士会会長)より、福祉現場の実態を踏まえながら「福祉の仕事の醍醐味」「就職にあたっての心構え」などの話がなされ、参加者は熱心に聞き入っていた。

災害ボランティア割引  
制度の実現に向けた  
要望活動

「災害ボランティア割引制度」を実現する会(事務局:ひょうごボランティアプラザ)では、平成26年1月から、制度実現を求める署名活動を続けてきた。その結果、県内や全国各地の社協より協力をいただき、署名賛同者数は、34万9251人(平



む暮らしの実現を支えるポイントを学んだ。

参加者からは「日常的に家計相談が求められる、助言の幅を広げるきっかけとなった」との声もあり、相談支援の充実に向けた視点を共有できた。

障害者虐待防止に  
向けた調査研究の  
成果まとまる!

一般社団法人兵庫県知的障害者施設協会では、このたび「知的障害者福祉施設・事業所における虐待防止の現状把握のための調査研究」の結果を事業報告書としてとりまとめた。この調査研究は、協会が社会福祉政策委員会(P6参照)の助成を受けて実施し、平成26年9月からおよそ半年をかけて行ったもの。協会会員施設が取り組む虐待防止への取り組みの現状を調査するとともに、各施設・事業所で職員向けの研修実施が出来るよう、研修モデルを提示した。

調査研究の成果は、施策の方向性や具体的な取り組み方策として県行政にも伝えられ、現場の実際を踏まえた政策提言として結実している。

みんなの広場 兵庫県社協の会員からの情報発信コーナーです

施設運営の質の向上を目指して

兵庫県福祉施設士会

全国社会福祉協議会が実施する「福祉施設長専門講座」の修了者に対して全国社会福祉協議会会長が付与する「福祉施設士」(昭和51年創設)を会員とする組織で、昭和54年に発足しました。

児童、介護、保育、障害などの施設種別にとらわれず、福祉施設を運営・管理する責任者である施設長の専門性・資質の維持、向上のための生涯研修ならびに福祉施設職員等の養成研修などを行っています。

全国組織の日本福祉施設士会の会員数は約1,250人で、兵庫県福祉施設士会(会長:あさひ保育園・舟橋 博氏、会員45人)では、社会福祉の専門家として福祉施設運営の質的向上に向けて研さんしています。

日本福祉施設士会が定める倫理綱領では、「利用者の基本的人権を尊重し国民福祉の向上に努める」「福祉施設運営の質的向上に努め、利用者中心の福祉サービス充実を図る」「地域福祉向上のため積極的にその役割を果たす」などが掲げられ、都道府県やブロック単位で研修会などを開催しています。

今年度は、兵庫県が担当県として右記の近畿ブロックセミナーを開催します。これからもご支援をお願いします。

こんな取り組みをしています!

平成27年度日本福祉施設士会  
第26回近畿ブロックセミナー 兵庫大会

期日 平成27年10月23日(金)~24日(土)  
場所 ANAクラウンプラザホテル神戸  
会費 18,000円  
内容 講演I「あきらめない心」野村真波氏  
(パラリンピック水泳選手)  
講演II「認知症予防と家族への支援」伊藤米美氏  
(NPO法人認知症予防ネット神戸理事長)  
※詳しくは下記事務局までお問い合わせください。

連絡先

兵庫県福祉施設士会  
〒659-0015 芦屋市楠町16-5 三田谷治療教育院内  
TEL 0797-22-5025

アピールしたい活動の  
情報をお寄せください。

問い合わせ

兵庫県社協 総務企画部 TEL 078-242-4633 FAX 078-242-4153 E-mail info@hyogo-wel.or.jp

寄付・寄贈のお礼

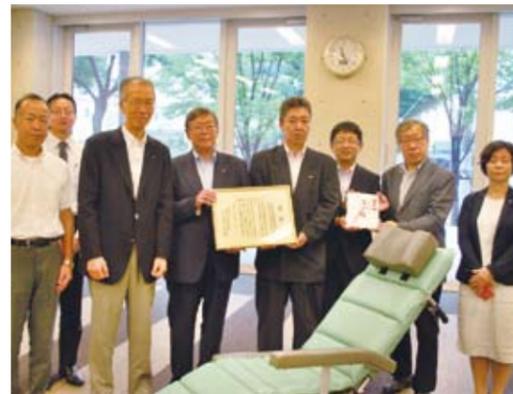
成27年8月7日現在に達した。7月27日には、東京都内で開催された「全国災害ボランティア議員連盟」(会長:長島忠美復興副大臣)の総会において、これまでいただいた署名と要望書を提出し、制度実現への支援を要望。同議連では、要望を受けて自らも同制度の実現に向けた署名活動を行い、「実現する会」の署名と併せて国へ働きかけていくことになった。



(株)トヨタレンタリース兵庫

9回目。当日は軽自動車の寄贈を受けたひめじ福寿会と県社協のほか、県身体障害者支援施設協議会、県重症心身障害児(者)を守る会に目録が贈呈され、寄贈者には本会長から感謝状を贈呈した。

また同日、兵庫日産自動車(株)・日産但馬販売(株)による車椅子寄贈式が同会場で行われた。自動車購入代金支払いのキャッシュレス化による社会貢献活動「愛の車いすキャンペーン」による寄贈は今年度で5回目。20台が県内の福祉施設等へ贈られた。寄贈式では、寄贈先の県身体障害者支援施設協議会、県知的障害者施設協会に目録が贈呈され、寄贈者には本会長から感謝状を贈呈した。



兵庫日産自動車(株)・日産但馬販売(株)

助成金情報

福祉活動等に対する助成金の情報です。詳細は、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

社会福祉法人読売光と愛の事業団 福祉作業所「アートの力」助成事業

対象 絵画、書などの創作活動や、オリジナルデザインを生かし工芸品や衣料品などの開発・制作に取り組んでいる作業所  
 助成額 1件上限100万円(総額1,000万円を予定)  
 締切り 平成27年9月25日(金)消印有効  
 ⑩⑪社会福祉法人読売光と愛の事業団  
 TEL 03-3217-3473  
 URL http://www.yomiuri-hikari.or.jp/

公益財団法人JKA RING!RING!プロジェクト

平成28年度公益事業振興補助事業  
 対象 ①公益の増進、社会福祉の増進、東日本大震災復興支援事業、緊急的な対応を必要とする事業への支援(NPO法人、財団法人・社団法人、社会福祉法人等)②新世紀未来創造プロジェクト(国公立・私立の小中学校・中学校・高等学校、NPO法人)③研究補助(大学等研究機関に所属し、当該組織の研究活動に実際に従事している者)④非常災害の援護(上記①の法人であり、災害救助のために救護物資の購入、管理、輸送、供与または貸与を行う者。また、災害救助、救援および復旧、復興活動を行う者)  
 助成額 各事業により異なる  
 要望受付期間 平成27年8月3日(月)～9月30日(水)13時  
 ※9月29日(火)15時までに、会員登録サイトでの会員登録が必要  
 ※③④は受付期間が異なります  
 ⑩⑪公益財団法人JKA  
 ※問い合わせはホームページの専用フォームより  
 URL http://ringring-keirin.jp/

公益財団法人コープともしび ボランティア振興財団

2016年度ボランティア活動助成  
 対象 兵庫県内で継続的に活動(2015年度内に10回以上)する福祉・環境分野などのボランティアグループまたは個人※法人格を持つ団体は対象外。助成金説明会参加必須  
 助成額 1件あたり上限個人3万円、グループ30万円  
 締切り 説明会参加申し込み平成27年10月30日(金)  
 ⑩⑪公益財団法人コープともしびボランティア振興財団 TEL078-412-3930  
 URL http://www.tomoshibi-found.or.jp/

募集

第13回読売福祉文化賞

21世紀にふさわしい福祉活動に取り組んでいる団体などを表彰します。  
 賞 一般部門3件、高齢者福祉部門3件  
 ※トロフィーと活動支援金各100万円  
 締切り 平成27年9月30日(水)消印有効  
 ⑩⑪社会福祉法人読売光と愛の事業団  
 TEL 03-3217-3473  
 URL http://www.yomiuri-hikari.or.jp/

研修・イベント

平成27年度神戸こどもの発達相談会

対象 言葉の遅れや発達に障害のある満3歳～18歳までの子どもとその保護者※子ども同伴必須。要事前申し込み  
 日時 平成27年9月13日(日)10:00～15:00の間の約1時間  
 会場 NHK神戸放送局(神戸市中央区)  
 参加費 無料(要事前申し込み)  
 講師 大学教授、医師、特別支援学校教師など各分野の専門家  
 ⑩⑪NHK厚生文化事業団近畿支局  
 TEL 06-6232-8401

第42回国際福祉機器展 H.C.R.2015

ハンドメイドの自助具から最先端技術を活用した福祉車両まで世界の福祉機器を一堂に集めた国際展示会。※入場は要事前登録  
 日時 平成27年10月7日(水)～10月9日(金)10:00～17:00  
 会場 東京ビッグサイト東展示ホール(東京都江東区)  
 入場料 無料(一部プログラムは有料)  
 ⑩⑪一般財団法人保健福祉広報協会  
 TEL 03-3580-3052  
 URL http://www.hcr.or.jp/

「暮らしとこころの相談会」ホットライン(日本弁護士連合会・兵庫県弁護士会)

解雇や賃金未払いなどの労働問題、生活保護・多重債務などの生活問題に弁護士が無料で相談に応じます。  
 日時 平成27年9月13日(日)13:00～21:00  
 TEL 078-341-9600  
 相談料 無料(予約不要)

行事予定

- 9月 2日 家族介護者連絡会◆神戸市勤労会館
- 2日～ チーム・マネジメントリーダー研修Aコース(全4回)◆県社会福祉研修所

- 5日 避難サポートひょうご大交流会 ◆木口記念会館
- 11日 市民後見推進研修◆神戸市勤労会館 職場研修プレセミナー(阪神北会場)◆三田市商工会
- 13日 「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーン総会・講演会 ◆神戸オリエンタル劇場
- 14日 生活保護中堅ケースワーカー研修 ◆県社会福祉研修所
- 18日・11月20日 新任職員OJT担当者研修(実践編) ◆県社会福祉研修所
- 25日 人事・労務管理研修(労務編) ◆県立のじぎく会館
- 25日～ 障害福祉施設リーダーゼミナール(全4回)◆県社会福祉研修所
- 29日 チームアプローチ実践研修 ◆県社会福祉研修所
- 30日 前頭側頭型認知症の家族交流会 ◆県福祉センター
- 10月 6日 NPOと行政の協働会議(東播磨) ◆東播磨生活創造センター「かこむ」
- 7日 看護職員研修◆県社会福祉研修所
- 9・10日 きょうされん第38回全国大会 inひょうご◆神戸国際展示場
- 11日 第18回介護支援専門員実務研修受講試験◆神戸学院大学ほか
- 16日 但馬・丹波・淡路地域対象 福祉の就職説明会◆神戸サンポーホール
- 19日 ストレスマネジメント研修 ◆県社会福祉研修所
- 21日 県社協第239回理事会・第185回評議員会◆県福祉センター
- 22日 新任生活支援員研修◆県福祉センター
- 23日 会計実務担当者研修 実践編(税務コース)◆県社会福祉研修所 経営協第235回理事会・例会 ◆県福祉センター
- 23・24日 日本福祉施設士会近畿ブロックセミナー◆ANAクラウンプラザホテル
- 27日～ 介護支援専門員専門研修課程II・更新研修A(後期) ◆県社会福祉研修所ほか
- 28日 福祉の就職説明会AUTUMIN in HYOGO◆尼崎中小企業センター
- 30日 第64回兵庫県社会福祉大会 ◆三木市文化会館

平成27年国勢調査が変わります!

インターネットでも紙の調査票でも回答可能! 日本に住んでいるすべての人と世帯が対象です。



くわしくは 国勢調査2015 検索

明るく健康な未来に向けて

すべては「健康」のために… 私たちは誠意と熱意で応えます。

事業内容 医薬品、防疫薬品、医薬部外品、化粧品、健康食品、健康関連用品の取り扱い。

家庭常備薬の斡旋をご利用ください。お客さまのニーズにあった商品を豊富に取り揃えております。



大日商事株式会社 TEL(06)6952-7015

FAX(06)6952-7137 大阪市旭区大宮4丁目18番18号



東京営業所 東京都大田区西蒲田7-4-3-406 TEL(03)5713-0381